

KATSUMI HAYASHI KASUGAI REPORT

第38号

林 克巳
かすがい瓦版



<http://www.ma.ccnw.ne.jp/kasugai/>

発行元：林克巳後援会事務所 春日井市鳥居松町6丁目27番地3 TEL0568-81-1851

暮らしやすさを実感できる未来へ



平素より市議会議員活動に邁進させて頂ける環境を賜り感謝申し上げます。令和7年度の市政方針では防災対策や福祉施策の推進、未来を担う子どもたちへの投資、良好な都市基盤の整備を重点項目に掲げ命と暮らしを守り幸せを創るまちづくりの実現に向けた予算編成となりました。

私たちを取り巻く生成AIなどのデジタル技術は日々進化を続けており将来に渡り新たな可能性を開拓していきます。このデジタル技術を有効に活用することにより市民に対して、より質の高いサービスを迅速に提供することができるようになります。こうした技術の進化とともに私たちを取り巻く社会環境は加速度的に変化していきますが、春日井市民の暮らしの負担軽減や市民サービスの向上に努め初心を忘れることなく今まで以上に市議会議員としての責務を精一杯果たしていく所存でございます。これからも、お互いに支え合い、生きがいや夢や希望を抱くことが出来る「より善い明日」を創るため市民の皆様方と同じ目線に立ち、謙虚にそして誠実に活動してまいりますので、引き続きご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

区・町内会の負担軽減策を推進

① 広報春日井の配布方法見直し

春日井市の情報発信に欠かすことのできないツールの一つである「広報春日井」は、これまで月に一度、年12回の配布を区・町内会・自治会の協力のもと行ってきましたが町内会等の負担軽減に向けた配布方法を検討した結果、来年（令和8年）2月号から民間業者による全戸配布とする準備を進める計画です。

② 防犯カメラの維持管理のための支援

春日井市内には市の補助金制度を活用して設置された防犯カメラが町内会などに292台、商店街に60台設置されています。この防犯カメラの設置効果を保つためには定期的な保守点検を行い適切な稼働を維持することが重要です。このため市の補助制度を利用して地域が設置した防犯カメラを対象に1台あたりの保守点検に要した費用の2分の1、上限年間5,000円を補助します。

また昨年度（令和6年度）から区・町内会・自治会で管理している防犯灯の電気料金は、これまで年間電気使用料の2分の1（4月分電気料×6か月）を補助してきましたが、年間電気料相当額（4月分電気料×12ヶ月分）の電気料の補助が始まりました。

そしてコミュニティ集会施設の建替えの際に発生する解体費の2分の1（上限200万円）の補助も始まりました。



令和7年度に春日井市が実施する主な取り組みについて

体育館への空調機の設置

小中学校の体育館は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、小学校は災害時に緊急避難所となります。

夏の猛暑や冬場でも快適に利用できる小中学校体育館の環境を早急に整えていく必要があるため計画を1年前倒して今年度(令和7年度)に実施設計、令和8年度に夏場の利用が多い中学校体育館、令和9年度には小学校体育館に空調機を設置します。

現在、リニューアル工事中の東部中学校については今年度(令和7年度)、同じくリニューアル工事中の篠木小学校と味美小学校は令和8年度に体育館に空調機を設置する工事を計画しています。

なお校舎の躯体を残して内外装を全面的にリニューアルする工事は生徒が授業する中、施工することになるため工期は令和6年度から令和8年度までの3年間となります。



【東部中学校完成パース図】



【篠木小学校完成パース図】



各種証明書のコンビニ交付サービス

住民票や印鑑証明、戸籍謄本など各種証明書をお近くのコンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機で発行できるようになりましたが、その利便性を広く知っていただくために、本庁舎1階にコンビニ等に設置してある多機能端末機と同じ機能を持つ機器を設置し利用促進を図ります。また、それらの端末で発行した証明書交付手数料は窓口で交付する金額より減額します。



子どもの学習・生活支援

貧困の連鎖を防止するため経済的に困窮する世帯の子どもに対し、学習意欲の向上、学習機会と居場所を提供する「子どもの学習・生活支援事業」は、経済的な問題から生じる教育格差を是正するために有効な施策です。今年度は実施場所を下記の6箇所に増やし学習支援を週1回(1回2時間)実施する計画です。

〔実施場所:東部市民センター・高蔵寺ふれあいセンター・落合公園体育館・レディヤンかすがい・知多公民館・西部ふれあいセンター〕

また無償で勉強を教える一般的に無料塾と呼ばれる活動をしている市内のNPO団体等との情報交換の場を設けるとともに市HPにて活動内容を周知していく計画です。



アジア競技大会の開催

2026 年に愛知県で開催されるアジア競技大会のハンドボール競技会場となる総合体育館の改修工事を行います。

工事内容は第 1 競技場のLDE化、公衆無線LANの設置、トイレの増設、段差解消等のバリアフリー化、グラウンド照明設備のLDE化等です。

なお本大会の開催日程は 2026 年 9 月 19 日～10 月 4 日までの予定です。



かすがいいいきポイント

65 歳以上の市民の方々が公共施設においてポイント付与対象となる活動(趣味活動や地域活動など)を行った際に、会場内に掲示してある QR コードをスマホのアプリで読み込むことでポイントが付与され一定ポイントが貯まるごとに電子マネーと交換できます。この仕組みを通じて高齢者のいきがいくくりと継続的な社会参加を促進する計画です。



放課後児童健全育成

保護者が就業等の都合により昼間家庭にいない小学生に適切な居場所や生活の場を提供する子どもの家の長期休業期間等(夏休みなど)の開所時間を午前 8 時から午前 7 時 30 分に前倒します。また低学年においても利用できない児童数が多い地区の不二子どもの家・小野子どもの家・西部子どもの家を増設し定員を拡大します。



市公式 LINE に新たな機能

より便利により身近な市政情報を素早くお届けできる春日井市公式 LINE を生活のワンシーンで「便利だな」と思っていただけ新たな機能を用意します。

一例として、子育て支援のための情報発信の充実を図るため健診や予防接種など、子どもの成長に合わせた情報を、その都度お知らせする機能を追加します。

LINE にログインし、下記の次のいずれかの方法で、春日井市を「友だち追加」とすると市公式 LINE とつながります。

- ① メニューの「友だち追加」で「QR コード」を選択して、右記の QR コードを読み取ると、友だち追加できます。
- ②メニューの「友だち追加」で「ID 検索」を選択して、「@kasugai_city」と入力して検索すると、友だち追加できます。





落合公園再整備基本計画

昭和 52 年度に事業着手した落合公園は、日本の都市公園100選に選ばれ利便性も良いことから日々、様々な目的で多くの方々が訪れる「総合公園」ですが、開園から 40 年が経過しており老朽化対策と安全性の向上、そして市民ニーズに沿う「まちづくりと一体となった都市公園のリノベーション」を目指して今年度(令和7年度)に実施計画を策定し、来年度(令和8年度)から整備工事に着手する計画です。

イベントゾーン(多目的広場) 大屋根を設置してイベントステージとして活用し普段は日差しを避けて休憩できるスペースとして利用する計画です。またキッチンカーによる飲食販売を行う広場空間の整備を計画しています。

芝生ゾーン 大屋根で行うステージイベントを芝生の上で観覧したり、緩やかな傾斜の上で休憩・のんびりすることができるスペースを計画しています。

遊びゾーン 既設の噴水広場を撤去して市内最大級の大型遊具や幼児用複合遊具などを設置した遊具広場を整備し、保護者が日陰で休みながら子どもを見守ることのできるスペースや高齢者障がい者、小さな子連れの方々も安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮したトイレを整備する計画です。また、子ども達が水に触れて遊ぶことができる水あそびスペースを整備する計画です。



遊具広場イメージパース図

駐車場 再整備後の来園者増加を見据え、現状 443 台の駐車スペースを約 200 台分拡張する計画です。また大型バスの駐車スペースも確保する計画です。

フォーリー水の塔 老朽化が激しい水の塔については設備を改修する計画です。



落合公園再整備後イメージパース図